

事業名	新規就農者等技術研修事業
対象者・支援内容	1 対象者 事業実施年度に、岩手県立農業大学校が開催する就農に関する基礎的な研修を修了した者 2 支援内容 (1) 目的 新規就農者及び就農志向者が研修施設等で就農に関する基礎的な研修を受講することを促進し、優れた青年等農業者の育成を図る。 (2) 助成内容 岩手県立農業大学校が開催する就農に関する基礎的な研修の受講経費の助成 助成額1人当たり5万円以内(助成率1/2以内)
事業名	新規就農スタートアップ支援事業
対象者・支援内容	1 対象者 認定新規就農者又は就農5年以内の認定農業者で次の要件をすべて満たすこと。 (1) 新規就農者確保・育成アクションプランにおいて位置付けられた取組であること。 (2) 申請時の年齢が65歳未満である者。 2 支援内容 (1) 目的 新規就農者の営農の早期定着化を図るため、青年等就農計画等に位置付けられた農業機械・施設の導入及び土壌改良等に必要な経費を支援する。 (2) 助成内容 ① 対象 ア 農業機械・施設（中古を含む、ただし中古ハウスを除く）の取得等経費及び修理費の助成、農業機械・施設の取得は、単価（税込み）10万円/個以上とする。 イ 中古ハウスの移設及び修理費の助成 中古ハウスの移設は、設置床面積1α以上とする。 ウ 施設園芸品目の栽培ほ場の排水対策、土壌改良及び客土等の生産基盤の整備に要する経費の助成 ただし、地力増進、土壌改良等に要する種苗費、肥料費を除く。 ② 助成額（助成率） ア 機械・施設の導入：50万円以内/人 （1/2以内、ただし、農地中間管理事業を活用した場合は2/3以内） イ 排水・土壌改良等：15万円以内/人（1/2以内） ※ 助成回数は事業の実施期間内で1回 3 備考 (1) 改正前の事業（新規就農者経営安定支援事業・地域経営資源継承支援事業・新規就農者育成加速化支援事業）を活用したものは対象外。 (2) 事業実施年度及び事業終了後3年間、経営実績報告書を地方協議会を経由し提出すること。
事業名	新鮮いわて農業チャレンジ体験研修
対象者・支援内容	1 対象者 ・本県の農業や就農に関心のある農作業体験希望者 ・県内での就農意欲を有し、研修先や雇用就農先を探している者 2 支援内容 (1) 目的 農業体験等の短期研修等により農業や地域への理解を深め、就農意欲の向上を図る。 (2) 実施期間 令和8年5月11日(月)～令和8年12月18日(金) ① チャレンジコース： 上記期間のうち、1日（県外者の場合2日も可） ② インターンシップコース：上記期間のうち、最長5日間 (3) 実施場所 県内の農業法人等25ヶ所（令和8年4月時点。随時更新） (4) 助成内容 県外から参加する研修生の宿泊費（研修前日から研修最終日まで）を助成（要件有り）

事業名	いわて新農業人チャレンジファーム ※内容は、令和8年度のものです。
対象者・支援内容	1 対象者 新規就農を志す方、兼業や半農半Xなど農的暮らしを考えている方、定年帰農を考えている方、その他本県の農業や農村に関わりたい方 2 支援内容 (1) 目的 講義と実習をセットにした研修を行い、農業に関する基礎知識や野菜栽培の基本的な技術等を習得することを目的とします。 (2) 研修期間等 ① 研修期間 1年間（4月17日～1月22日、計25回、各3時間程度） ② 研修課程 金曜日コース、及び土曜日コース（研修内容は同じ） (3) 場所 雫石町南畑地区コテージむら管理センター及びコテージむら内の園芸施設等 (4) 研修内容 ① 講義及び実習等 22回（栽培技術、関係法令、修了生との意見交換会等） ② 現地研修 3回（先進農家等での視察研修） (5) 受講費用 年額1万5千円（傷害保険、教材費等） (6) 募集定員 金曜日コース、土曜日コース 各10名 (7) 募集期間 令和8年1月10日(土)～2月13日(金) 3 備考 次年度も実施予定
問 合 先	〒020-0884 盛岡市神明町7番5号 公益社団法人岩手県農業公社 就農支援部 就農支援課 TEL 019-623-9390 FAX 019-623-9396